

謹 呈

様

## 乙訓不登校を考える親の会『大地』 5周年記念誌 「そのままでええねん」発行にあたって

平素は格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

表記記念誌発行にあたり、アドバイザーとして関わり続けて来た立場から一言添えさせていただきたいと思います。

私自身、個人的な体験から「不登校支援」はライフワークであり、地元で突然に「会」の立ち上げの相談を受けた時の喜びを思い出します。そして、早いもので5年が経ちました。

本記念誌は、「不登校」状態の(だった)当事者である子どもたちとその親・家族による5年間の取り組みの総集。2021年早春より実行委員会が動き出し、親・保護者向けアンケートづくり、そして子どもたち向けアンケートづくり、その集計・分析、5年の活動の中で会員各自が体験し味わい獲得したもの、それらを基にした特集企画、在籍校との関わり方や通信制高校についてなど当事者・親・家族だから知り得る情報などが満載です。「居場所」として利用させていただいているお寺での取り組みや会員有志によるさまざまな活動は、他に類を得ない特記に値するものと思います。関係・支援者からの寄稿も素晴らしく、「記念文集」の枠を超えて、1文1句1文字が貴重で一切の無駄のない関係者の想いが込められています。印刷・製本はプリントパック発注ですが、出稿データのすべてを会員保護者が作成しました。親・家族も、こどもたちも、「不登校」と正面から向き合いながら遅くなっていますことは誌面からもご理解いただけるものと思います。

『大地』は、「不登校支援」をテーマに、地域における教育・福祉・医療などの法・制度による行政や事業者などが提供する「支援」(縦糸)と、『大地』会員や応援して下さる方々の個人的な「つながり」(横糸)が有機的に結合・連動しつつ広がる、絹糸が織りなす絨毯のように柔らかく温かい地域作りの一助になれたのだろうかとふり返りつつ、今後も会の継続が必用な状況が続く中で更なる課題と向き合う気持ちを会員の皆様と共有し、もっと地域に理解と協働を拡めたいと思う次第です。何よりもこどもたちの成長と、一人ひとりの自分らしい未来を切り開くことを願って…。

今後ともご指導を宜しくお願いします。

謹白

2021年12月吉日



精神保健福祉士事務所

教育と人間関係の相談室カンナ

代表 木下 秀美

認定精神保健福祉士・自閉症スペクトラム支援士 (Standard)

